

# 13 1本の木にユズ、カボス、スダチをならせよう!

もし、1本の木にいろんな種類の実がついたら、すっごく楽しいよね。温州ミカンの早く熟すものからおそく熟すものまでをならせるのもおもしろいけれど、もっと楽しいのは、料理用の酢ミカン(香酸カンキツ)つまり、ユズやカボス、スダチなどだ。好きな種類の酢ミカンを選んで、1本のミカンの太い枝ごとに接ぎ木してみよう。高接ぎという方法で接ぐんだ。うまくいったら、一鉢で3~4種類の酢ミカンを楽しむことができるよ。

## 穂木を用意する

接ぎ木する穂木は、芽の出る前3月ごろに1年目の若い枝を20センチくらいに切り、葉をはさみで切り取り、根元を湿った新聞紙で包んでから束ねてポリ袋に入れて乾かないようにしっかりと折りたたみ、5~10の冷蔵庫に入れておこう。ここでは、ユズ、カボス、スダチを使うよ。穂木には、それぞれ名札をつけておくこと。友だちや知人から枝をもらって用意しておくといいね。または、それぞれの苗木を用意しておいて、接ぎ木の時期に、切って穂木をつくり、すぐに接ぎ木してもかまわないよ。

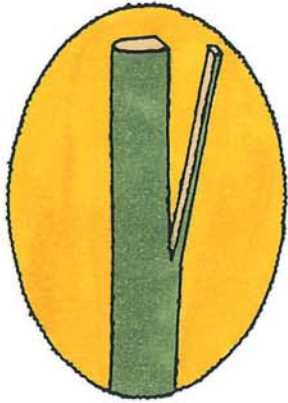
## 台木を用意する

ふつうカラタチ台木だけれど、人手でできればヒリュウ台木に接ぎ木された温州ミカンの2年生苗を使おう。鉛筆より太い枝が3~4本でいる苗を選んで春に植えておこう。

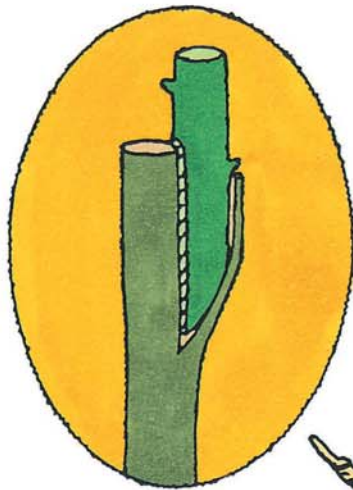
## 接ぎ木の準備

接ぎ木の時期は4~5月の台木の新芽が3センチくらい伸びたころ。でも4~9月20日以上の日がつづく時期で雨や水やりのつぎの日なら、うまく接げるよ。台木は、どの枝も10~15センチに切りつめて使おう。穂木をとりだして、枝元を切り、さらに2芽をのこして、4センチくらいの長さで上を切り落とす。これを図のように切って形成層をだした穂木をつくり、ぬれ雑巾につんでおく。何度か練習していちばんよさそうなのを使おう。





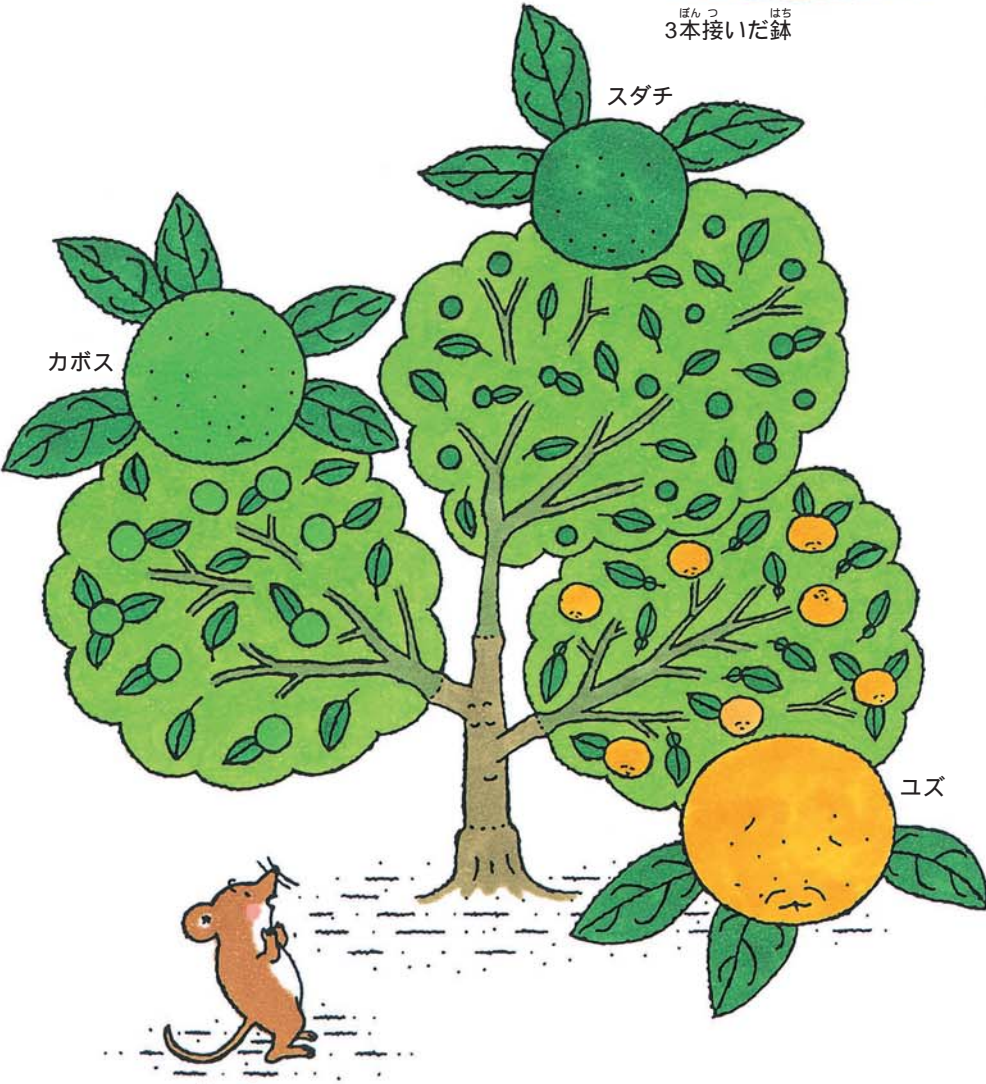
だいぎ けず かた  
台木の削り方



ほぎ だいぎ  
穂木を台木に  
つ  
接いだ断面図



ほんつ はち  
3本接いだ鉢



## つ き かた 接ぎ木のやり方

だいぎ き くち もくしつ ぶ みどりいろ かわ  
台木の切り口をみると木質部と緑色の皮があるから、だいぎ えだ ほそ もくしつ ぶ  
と皮のあいだを木質部の1ミリ内側にカッターナイフを入れて3センチくらい下まで、切り下げよう。そこにほぎのなが けず めん けい  
成層と台木の形成層とをあわせて差し込み、つ  
接ぎ木用テープでまきあげよう。テープは、すこ  
少しひっぱりながらやや重なるようにしてい  
ないにまこう。ほぎ だいぎ けいせいそう  
穂木と台木との形成層がず  
れないように気をつけるんだよ。台木が太  
めるときは、ほぎのなが けず めん はば  
穂木の長い削り面の幅より1ミ  
りほど広めの幅で、カッターナイフで平行  
に皮よりほんのすこ ぶかく 3センチほど切り下  
ろし、上に刃をあてて皮だけをすこ  
うえ は かわ すこ  
少しはがして、そこにおなじように穂木を差し込んで  
テープでまきあげよう。ほぎ せんたん だいぎ  
穂木の先端や台木の切り口などテープをまいていないところは、  
は、ポンドを塗って乾燥をふせごう。

## つ ほ め 接ぎ穂の芽

つ き 木して15~20日くらいするとテープのなかの穂木の芽がふくらむから、ふくらんでいるところだけカッターナイフでへの字にテープを切って、芽が伸びやすいようにしてやろう。テープをはずすと乾いて枯れるよ。テープは1年間そのままにしておこう。台木の芽はいらないから、伸びだしたらすぐに摘もう。

## ご かんり その後の管理

しゅらい つ き 木して、あたらしい芽が伸びてきたら、支柱を立てて、枝を上へ伸ばしてやろう。雨や風があたらない場所に鉢を置くようにして、水やりは、16ページとおなじに、また追肥は温州ミカンの半分くらいの量を1か月に1度、4~10月までやろう。またアゲハの幼虫やエカキムシなどはみつけしだい手でとりのぞこう。あとの管理は、巻末解説をみてね。